

委員からの意見書(原本)
基盤整備部会抜粋

(第3回基盤整備部会資料)

令和3年9月9日

(別紙 2-1)

意見書様式(修正文案用) (新たな振興計画(素案)に対する意見)

提出先の部会 : 基盤整備部会

氏名 : 有住康則

委員 _____ 専門委員

所属部会名 : 基盤整備部会

(素案)			本 文	意 見(修 正 文 案 等)	理 由 等
章	頁	行			
4	79	3	□亜熱帯地域に適した防災・減災、長寿命化等に対応するための建設技術の研究・開発を促進する。	□亜熱帯地域に適した防災・減災、長寿命化等に対応するための技術者の育成及び建設技術の研究・開発を促進する。	本土復帰後、集中的に整備された社会基盤の経年劣化や塩害による急速な劣化の進行など、適切な維持管理や補修の実施が重要となっている。 そのため維持管理を担う技術者の育成確保を促進する必要がある。

※様式のデータはあらかじめメールでご案内しておりますが、県ホームページへも掲載しています。

※意見については、郵送、FAX又はメールにて、各回の会議開催1週間前までに、提出先の部会担当者あてに提出願います。

×切を過ぎてしまいますと、翌々回の会議における対応となりますので、あらかじめご了承ください。

(別紙 2-1)

意見書様式(修正文案用) (新たな振興計画(素案)に対する意見)

提出先の部会： 基盤整備部会

氏名： 宮城 茂

委員 ・ 専門委員

所属部会名： 基盤整備 部会

(素案)			本 文	意 見(修 正 文 案 等)	理 由 等
章	頁	行			
4	102	21	那覇港及び那覇港を基軸とする国際物流拠点の形成と、国際物流産業の集積に取り組む必要がある。	那覇港及び那覇港・中城湾港を基軸とする国際物流拠点の形成と、国際物流産業の集積に取り組む必要がある。	中城湾港のあるうるま・沖縄地区も「国際物流拠点産業集積地域」に指定されている。

※様式のデータはあらかじめメールでご案内しておりますが、県ホームページへも掲載しています。

※意見については、郵送、FAX又はメールにて、各回の会議開催1週間前までに、提出先の部会担当者あてに提出願います。

※切を過ぎてしまいますと、翌々回の会議における対応となりますので、あらかじめご了承ください。

(別紙 2-1)

意見書様式(修正文案用) (新たな振興計画(素案)に対する意見)

提出先の部会： **基盤整備部会**

氏名：西日本電信電話(株)沖縄支店
支店長 古江 健太郎

委員 ・ 専門委員

所属部会名： 基盤整備 部会

(素案)			本 文	意 見(修 正 文 案 等)	理 由 等	
章	頁	行				
1	4	72	1	<p>・2-(6)-イ①情報通信技術を活用できる環境整備 「また、離島等の条件不利地域においては、～情報通信基盤の確保に取り組む。」</p>	<p>(意見) ここで言及されている内容は非常に重要なものと認識。 特に、陸上通信網の「地下埋設」等の整備という視点。近年の自然災害の激甚化等を踏まえると、特に離島等条件不利地域における社会インフラ(通信、電力等)の強靱化が求められる。 通信においては、特に重要拠点(役場、空港・港、診療所等)での不具合が発生した場合の生活基盤に与える影響は大きく、また復旧にも相応の時間がかかることもあり、通信事業者と連携した、強靱化対策が必要と考える。 これらを踏まえ、ここでの記述においては、「重点施設を中心とした陸上通信網の地下埋設等の整備を図り」としてはどうか。</p>	

<p>(別紙 2-1)</p>	<p>2</p>	<p>4</p>	<p>158 160</p>	<p>9 6</p>	<p>・5-(1)-ア①多様な学習機会の創出及び提供 「子どもたちが地域の自然、～など学習活動の 充実に取り組む。」</p> <p>・5-(1)-ウ②ICT等を取り入れた教育環境の整備 及び充実 「離島・へき地の学校における～教職員等の 資質向上に取り組む。」</p>	<p>(意見) これまで県として取り組んでこられた離島におけるブ ロードバンド環境整備事業やGIGAスクール整備など により、教育分野におけるICT環境整備が進んできて おり、(引き続き更なる充実に図ることはもちろんだが)今 後は特にICTの活用による都市部と同様の学習機会の 創出が求められるのではないかと考える。 例えば、大学や民間企業などと連携したオンライン教 育やバーチャル体験等の提供についても検討を進め ていく必要があると考える。 こうした観点から、「ICT等を活用した多様な学習機 会の創出」という趣旨の記述を該当2カ所に反映しては どうか。 ※ア①の文にはICT等の活用という言葉がない。ウ② の文には学習機会の創出という言葉がない。</p>
<p>3</p>	<p>4</p>	<p>86 93 100</p>	<p>1 8 17</p>	<p>・3-(1)-ア①デジタルトランスフォーメーション等 の推進による企業の生産性向上 「沖縄ITイノベーション戦略センターと連携し、 ～DX推進のためのソフトインフラとしての活用を 図る。」</p> <p>・3-(2)-ウ①国内外観光客のマーケティング 「国内・国外観光客の行動歴、～良質な観光 客を誘致するターゲットマーケティングへの転換 を図る。」</p> <p>・3-(3)-ア①県内情報通信関連産業と他産業連 携による新たなビジネスモデルの創出 「官民各セクターが持つデータのオープン化を 進め、～県内産業の DX 推進基盤を構築する。」</p>	<p>(意見) データのオープン化、データ流通プラットフォーム構築 は、(データ活用を通じた)新たな価値の創造やイノ ベーション創出に不可欠なものと言える。また、今後の スマートシティ形成などにおいても不可欠となるもの。 実現には官・民をはじめ関係者の合意形成や共同利 用していくための仕掛けや仕組みづくりがとても重要に なる。利害関係を越えてニュートラルに調整できる機能 (体制)が必要であり、地域住民も巻き込んだ推進体制 の確立が不可欠と考える。その旨にも言及してはどうか。 (観光ビッグデータ構築、活用についても同様のことが 言える。)</p> <p>また、こうした取り組みは、企業や県内産業の「DX推 進」に資するだけでなく、イノベーション創出による産業 振興、まちや社会のスマート化にも繋がるものであり、 将来的な沖縄県の発展に大いに貢献する可能性のある 取り組みと考える。 その意味で、現行の記述にある「DX推進のためのソフ トインフラとしての活用」や「県内産業のDX推進基盤」 という表現だけでは、取り組みの意義(目的)が狭く なっている印象を受ける。 (イノベーション創出や「スマート化」といったキー ワードを盛り込んだ方が良いと考える)</p>	

(別紙 2-1)					<p>・2-(6)-ア⑤地域特性や社会環境の変化に応じた都市公園の整備 「災害時における避難地として～備蓄倉庫等の整備に取り組む。</p>	<p>(意見) 単なる避難場所としての整備ではなく、安心のための通信設備(非常用電源を用いたWi-Fi等)も重要であると考ええる。</p>	
4	4	71	9		<p>・2-(3)-ウ離島・へき地医療、救急医療提供体制の確保・充実</p>	<p>(意見) 離島・へき地医療の項目として、少し観点は異なるかもしれないが、遠隔医療・遠隔診断の活用・導入についても(国の法制度整理動向を踏まえながら)検討していくという話があっても良いのでは。 コロナ影響により、遠隔診断の活用が促進される中、今後はこの分野でのICT活用(リモート化・オンライン化の促進)も重要な取り組みになると考える。 ※P75には別項目としての記載あり(次項に関連)</p>	
5	4	61	4		<p>2-(7)-ウ①地域の实情に応じた医療提供体制の確保</p>	<p>(意見) ここでは、離島・へき地における安定した医療提供体制を確保するための施策として、施設整備や医療従事者の確保、オンライン研修等に言及されているが、離島・へき地医療の項目として、(少し観点は異なるかもしれないが)遠隔医療・遠隔診断の活用・導入について言及があっても良いのでは。 今後はこの分野でのICT活用(リモート化・オンライン化の促進)も重要な取り組みになると考える。</p>	
6	4	75	3		<p>・3-(12)-ア次世代の通信環境に対応した情報通信基盤の整備 ・「リード文および①未来創造の情報通信基盤の構築」 ・リード文「Society5.0の実現に向け、～次世代の超高速通信の環境整備を検討する必要がある。」 ・①「DXの基盤となる～、情報通信基盤の整備に取り組む。</p>	<p>(意見) 「離島を含めた、次世代の超高速通信の環境整備を検討する必要がある」について、非常に重要な記述だと考えるが、ここで「検討する」という表現は不要ではないか。「検討する」とした意図があれば教えていただきたい。 ※P.71では「5GやBeyond5Gなど次世代の情報通信基盤の整備に取り組む」としている。 ※P.73では、離島の情報通信基盤として「5Gなど次世代の超高速通信環境の普及促進に取り組む」としている。 また、次の①の項目では、ここにだけ「ローカル5Gの導入」についての言及があるが、「ローカル5G」については、ここにだけ登場していると認識。(何か意図があるのであれば教えていただきたい。)</p>	
7	4	140	27				

(別紙 2-1)	8	4	76	29	自由意見として	(8) あらゆるリスクに対応する安全・安心な島づくり 災害などの有事の際に、防災無線のような一方的な報知ではなく、県民が避難したのか救助を求めているか、といった双方向の通信をICT等で実現することで、県民一人ひとりに寄り添い、さらには定量的な観点から自治体職員が効率的に動ける仕組みを構築する必要があると考える。	
					自由意見として	・全体的な意見 ・デジタル化、DXは、間違いなく「安全・安心で幸福が実感できる島」の形成に向けた重要なキーワードになるが、住民の間で新たな格差を生み出したり、格差が拡大することになっては本末転倒。(「誰一人取り残すことのない」に反する) デジタル化、スマート化を進めて、県民が公平に豊かさや便利さを享受するためにも、住民目線でのデジタルデバйд解消、デジタル化に対するアレルギーのようなものをいかに取り除いていくか(個人情報保護・セキュリティ確保の観点も含めて)対処していく視点が必要と感じる。この点への言及が全体を通して不足していないだろうか。スマートシティなどでのあらゆるデータの利活用に対する抵抗感・不安感などの払拭も大きな課題となる。(沖縄に限らない話ではあるが)	

※様式のデータはあらかじめメールでご案内しておりますが、県ホームページへも掲載しています。

※意見については、郵送、FAX又はメールにて、各回の会議開催1週間前までに、提出先の部会担当者あてに提出願います。

×切を過ぎてしまいますと、翌々回の会議における対応となりますので、あらかじめご了承ください。

(別紙 2-1)

意見書様式(修正文案用) (新たな振興計画(素案)に対する意見)

提出先の部会：**整備基盤部会**

氏名:青木 紀将

委員 ・ 専門委員

所属部会名： 整備基盤部会

(素案)			本文	意見(修正文案等)	理由等
章	頁	行			
4	89	20	安全・安心で快適な観光地の形成を基本方向に、世界の観光需要に対応した受入環境を整備するとともに、観光ブランド力の強化、DXを取り入れた観光の高度化・多様化を促進することで、量に加え質の向上も取り組むなど、沖縄観光の変革が課題である	量より質への転換ではなく、量も質も追いかけるということか？またこの本文からは「沖縄らしさ」が感じられず、どこの観光地か分からない表現になっていると考える。もっと「沖縄らしさ」を出すべきではなかろうか？	
4	90	17	各種感染症の侵入防止のための検疫・防疫体制及びセキュリティ対策の重点的強化に取り組む。	感染症対策は急務であり、今後の沖縄観光再興における最重要課題と認識している。具体的にはどのような対応、指標を持つのか？	
4	103	21	① 国際航空物流ハブとしての機能強化	国際航空物流ハブの評価(設立以降の経済的効果など)はどうなっているのか？評価を踏まえて課題を検証、その解決に向けた方策を検討していくべきではなかろうか。	

4 (別紙	141 2	4 1)	イ世界水準の拠点空港等の整備	世界水準の拠点空港とは具体的にどこをイメージしてるのか？世界水準の定義が為されないまま旅客数を成果指標に置いていることの関係性が難しい。	
----------	----------	---------	----------------	--	--

※様式のデータはあらかじめメールでご案内しておりますが、県ホームページへも掲載しています。

※意見については、郵送、FAX又はメールにて、各回の会議開催1週間前までに、提出先の部会担当者あてに提出願います。

×切を過ぎてしまいますと、翌々回の会議における対応となりますので、あらかじめご了承ください。

新たな振興計画(素案)に対する意見書

令和3年 8月
沖縄県振興審議会 基盤整備部会 (神谷大介)

・「計量計算モデル」として説明のあった「展望値」の算出方法は、統計的検定がない単回帰モデルではないか。施策においてロジックモデルを組むのであれば、シミュレーションモデルを構築し例えば、県民所得にどのような効果があるかまで示す必要がある。また、物流などの議論であれば、産業連関モデルを組み込んだり、応用一般均衡モデルなどで示す必要がある。

・特定の数値を施策の達成目標として出すのではなく、クロスセクター効果を明示したほうがよい。例えば、グリーンズローモビリティでは、移動手段だけで評価するのではなく、人のつながりを作る価値、まちの賑わいを創造する価値など便益では出ない価値を高く評価している。必要がある。主たる効果な何で、副次的な効果はどこに生み出されるのかを整理する方法もある。

・次の10年は沖縄でも人口減少社会に向かうかもしれない。少なくとも生産年齢人口は減少社会に向かう。その中で増加トレンドだけを見ることの危険性を認識する必要がある。

・ビッグデータを集めてAIで効率化を行うことは容易ではない。AIを活用しようとするならば、何をモニタリングして、何を教師データとするのか、そのあたりについて十分考え、使える解を導くために必要な情報の鮮度・粒度など考えておく必要がある。

・スマートシティの中では、オーソリックスな交通系データなどは不可欠である。基盤整備部会の中でも必要なデータがオープンになっていない課題を十分に認識してされていることから、しっかり検討する必要がある。

(別紙 2-1)

意見書様式(修正文案用) (新たな振興計画(素案)に対する意見) 1

提出先の部会：**基盤整備部会**

氏名：津波達也

沖縄県振興審議会委員

所属部会名：

部会

(素案)			本文	意見(修正文案等)	理由等
章	頁	行			
4章	147	10	②体系的な道路ネットワークの構築 本県は自動車への依存度が高く、自動車保有台数の増加、レンタカー利用の増加等の急激な自動車交通の増加に対して人口が集中する本島中南部地域では慢性的な交通渋滞が発生しており、	②体系的な道路ネットワークの構築 名護東道路が6.8km開通したが、観光拠点を有する本部方面への県民及び観光客の移動利便性向上、渋滞緩和、道路防災機能強化を図る必要がある。 本県は～	沖縄本島北部の現状、課題を追加した。素案の章立てとして、基本施策に方向性が示されていないのに、突然、圏域で施策が示されるのに違和感がある。基本施策において方向性を醸し出す必要がある。
4章	147	17	交通経路分散に寄与する2環状7放射道路の整備など体系的な幹線道路ネットワークの構築に取り組む。	2環状7放射道路などについて、県土の均衡ある発展、駐留軍跡地等を活用したネットワーク強化の検討、整備など体系的な幹線道路ネットワークの構築に取り組む。	道路については、整備について記載しているが、公共交通システムでは調査検討段階の記載が多い。道路部門として、調査を含め取り組む方向性を、わかり易く記述して欲しい。路線網検討の調査費獲得に向けて、記載すべき。
4章	147	21	AI、IoT、ビッグデータ等の新技術等を活用して道路利用を効率化し、歩行者や自転車、公共交通等の多様なニーズに対応した道路空間の有効的な活用に取り組む。	AI、IoT、ビッグデータ等の新技術等を活用して道路利用を効率化し、歩行者や自転車、公共交通等の多様なニーズに対応した、()、()等の道路空間の有効的な活用に取り組む。	道路空間の有効活用策がイメージできないので、施策の事例を追加して欲しい。

※様式のデータはあらかじめメールでご案内しておりますが、県ホームページへも掲載しています。

※意見については、郵送、FAX又はメールにて、各回の会議開催1週間前までに、提出先の部会担当者あてに提出願います。

※切を過ぎてしまいますと、翌々回の会議における対応となりますので、あらかじめご了承ください。

(別紙 2-1)

意見書様式(修正文案用) (新たな振興計画(素案)に対する意見) 2

提出先の部会：**基盤整備部会**

氏名：津波達也

委員

所属部会名：

部会

(素案)			本文	意見(修正文案等)	理由等
章	頁	行			
6章	194	1	沖縄本島の南北軸を東西に連結するハンゴ道路や南部東道路の整備、中城湾沿岸の産業集積地域等を結ぶ新規幹線道路の整備に向けた取組、公共交通の充実・強化など円滑な交通ネットワークの構築を図る。	沖縄本島の南北軸を東西に連結するハンゴ道路や南部東道路の整備、 中城湾沿岸の産業集積地域等を結ぶ新規幹線道路、うるま市海中道路と高速道路とを結ぶ新規路線等 の整備に向けた取組、公共交通の充実・強化など円滑な交通ネットワークの構築を図る。	うるま市長のマニフェストにある道路整備を追加。 質問： 中城湾沿岸の産業集積地域等を結ぶ新規幹線道路 について、路線名もしくは場所がわかるように記載して欲しい。(どこの道路かわからない)
6章	205	26	② 交通及び物流基盤の整備 広域交流拠点の那覇と北部圏域の中心都市である名護を1時間で結ぶ 鉄軌道 を含む新たな公共交通システムの導入を前提とした 都市間交通と並行し交通結節点、フィーダー交通 、地域道路網等が連携する有機的な公共交通ネットワークの構築を推進する	鉄軌道等と並行した結節点、フィーダー交通とは具体的に何のことか、次期計画間で何を検討するのか、列記して欲しい。	都市間交通の区間である、うるま市から名護市駅までに、どのような施策を検討するのか分るようにして欲しい。この区間を利用する公共交通利用者は少ないと思います。
6章	205	26	② 交通及び物流基盤の整備 追加	伊江島空港について、米軍空域の返還・制限緩和などを図り、北部空港・伊江島空港を拠点とした航空ネットワーク形成に向けた取組 を図る。	1500mの滑走路を有しもったいない。 将来的に那覇空港は、空港能力の観点から逼迫する可能性があり、伊江島空港は、那覇空港を補完する空港のポテンシャルがあると考える。

※様式のデータはあらかじめメールでご案内しておりますが、県ホームページへも掲載しています。

※意見については、郵送、FAX又はメールにて、各回の会議開催1週間前までに、提出先の部会担当者あてに提出願います。

×切を過ぎてしまいますと、翌々回の会議における対応となりますので、あらかじめご了承ください。

(別紙 2-1)

意見書様式(修正文案用) (新たな振興計画(素案)に対する意見) 3

提出先の部会：**基盤整備部会**

氏名：津波達也

委員

所属部会名：

部会

(素案)			本文	意見(修正文案等)	理由等
章	頁	行			
6章	213	4	②交通渋滞の緩和に向けた交通ネットワークの構築に追加	<input type="checkbox"/> 喫緊である交通渋滞の緩和及び基地跡地のまちづくりを進めるため、基地跡地への鉄軌道導入については、費用対効果の整理を行い、早期新規採択に向けた取組を進める。 <input type="checkbox"/> 道路については、中部縦貫道路、普天間横断道路の検討を進めるなど、基地跡地の円滑なまちづくり、体系的な道路ネットワークの構築に向けた取組を進める。	<p>中部圏域の展開の方向性で、「今後の大規模な駐留軍用地の跡地利用と周辺市街地との一体的な整備を推進する。」と記載(p20 8. 3行)あるが、施策の中では記載漏れです。</p> <p>振興計画の章立てでは、6章で再掲も含め詳述して、圏域の整備方向性を県民が分かるよう記載すべきです。</p> <p>その他、モノレール延長の区間やLRTの区間等、公共ネットワークの整備についても記載すべきです。利用者の少ない北部では記載されています。</p>

※様式の手データはあらかじめメールでご案内しておりますが、県ホームページへも掲載しています。

※意見については、郵送、FAX又はメールにて、各回の会議開催1週間前までに、提出先の部会担当者あてに提出願います。

×切を過ぎてしまいますと、翌々回の会議における対応となりますので、あらかじめご了承ください。

(別紙 2-1)

意見書様式(修正文案用) (新たな振興計画(素案)に対する意見) 1

提出先の部会：**基盤整備部会**

氏名：津波達也

委員

所属部会名：

部会

(素案)			本文	意見(修正文案等)	理由等
章	頁	行			
4章	147	10	②体系的な道路ネットワークの構築 本県は自動車への依存度が高く、自動車保有台数の増加、レンタカー利用の増加等の急激な自動車交通の増加に対して人口が集中する本島中南部地域では慢性的な交通渋滞が発生しており、	②体系的な道路ネットワークの構築 名護東道路が6.8km開通したが、観光拠点を有する本部方面への県民及び観光客の移動利便性向上、渋滞緩和、道路防災機能強化を図る必要がある。 本県は～	沖縄本島北部の現状、課題を追加した。素案の章立てとして、基本施策に方向性が示されていないのに、突然、圏域で施策が示されるのに違和感がある。基本施策において方向性を醸し出す必要がある。
4章	147	17	交通経路分散に寄与する2環状7放射道路の整備など体系的な幹線道路ネットワークの構築に取り組む。	2環状7放射道路などについて、県土の均衡ある発展、駐留軍跡地等を活用したネットワーク強化の検討、整備など体系的な幹線道路ネットワークの構築に取り組む。	道路については、整備について記載しているが、公共交通システムでは調査検討段階の記載が多い。道路部門として、調査を含め取り組む方向性を、わかり易く記述して欲しい。路線網検討の調査費獲得に向けて、記載すべき。
4章	147	21	AI、IoT、ビッグデータ等の新技術等を活用して道路利用を効率化し、歩行者や自転車、公共交通等の多様なニーズに対応した道路空間の有効的な活用に取り組む。	AI、IoT、ビッグデータ等の新技術等を活用して道路利用を効率化し、歩行者や自転車、公共交通等の多様なニーズに対応した、()、()等の道路空間の有効的な活用に取り組む。	道路空間の有効活用策がイメージできないので、施策の事例を追加して欲しい。

※様式のデータはあらかじめメールでご案内しておりますが、県ホームページへも掲載しています。

※意見については、郵送、FAX又はメールにて、各回の会議開催1週間前までに、提出先の部会担当者あてに提出願います。

※切を過ぎてしまいますと、翌々回の会議における対応となりますので、あらかじめご了承ください。

(別紙 2-1)

意見書様式(修正文案用) (新たな振興計画(素案)に対する意見) 2

提出先の部会：**基盤整備部会**

氏名：津波達也

委員

所属部会名：

部会

(素案)			本文	意見(修正文案等)	理由等
章	頁	行			
6章	194	1	沖縄本島の南北軸を東西に連結するハンゴ道路や南部東道路の整備、中城湾沿岸の産業集積地域等を結ぶ新規幹線道路の整備に向けた取組、公共交通の充実・強化など円滑な交通ネットワークの構築を図る。	沖縄本島の南北軸を東西に連結するハンゴ道路や南部東道路の整備、 中城湾沿岸の産業集積地域等を結ぶ新規幹線道路、うるま市海中道路と高速道路とを結ぶ新規路線等 の整備に向けた取組、公共交通の充実・強化など円滑な交通ネットワークの構築を図る。	うるま市長のマニフェストにある道路整備を追加。 質問： 中城湾沿岸の産業集積地域等を結ぶ新規幹線道路 について、路線名もしくは場所がわかるように記載して欲しい。(どこの道路かわからない)
6章	205	26	② 交通及び物流基盤の整備 広域交流拠点の那覇と北部圏域の中心都市である名護を1時間で結ぶ 鉄軌道 を含む新たな公共交通システムの導入を前提とした 都市間交通と並行し交通結節点、フィーダー交通 、地域道路網等が連携する有機的な公共交通ネットワークの構築を推進する	鉄軌道等と並行した結節点、フィーダー交通とは具体的に何のことか、次期計画間で何を検討するのか、列記して欲しい。	都市間交通の区間である、うるま市から名護市駅までに、どのような施策を検討するのか分るようにして欲しい。この区間を利用する公共交通利用者は少ないと思います。
6章	205	26	② 交通及び物流基盤の整備 追加	伊江島空港について、米軍空域の返還・制限緩和などを図り、北部空港・伊江島空港を拠点とした航空ネットワーク形成に向けた取組 を図る。	1500mの滑走路を有しもったいない。 将来的に那覇空港は、空港能力の観点から逼迫する可能性があり、伊江島空港は、那覇空港を補完する空港のポテンシャルがあると考える。

※様式のデータはあらかじめメールでご案内しておりますが、県ホームページへも掲載しています。

※意見については、郵送、FAX又はメールにて、各回の会議開催1週間前までに、提出先の部会担当者あてに提出願います。

×切を過ぎてしまいますと、翌々回の会議における対応となりますので、あらかじめご了承ください。

(別紙 2-1)

意見書様式(修正文案用) (新たな振興計画(素案)に対する意見) 3

提出先の部会：**基盤整備部会**

氏名：津波達也

委員

所属部会名：

部会

(素案)			本文	意見(修正文案等)	理由等
章	頁	行			
6章	213	4	②交通渋滞の緩和に向けた交通ネットワークの構築に追加	<input type="checkbox"/> 喫緊である交通渋滞の緩和及び基地跡地のまちづくりを進めるため、基地跡地への鉄軌道導入については、費用対効果の整理を行い、早期新規採択に向けた取組を進める。 <input type="checkbox"/> 道路については、中部縦貫道路、普天間横断道路の検討を進めるなど、基地跡地の円滑なまちづくり、体系的な道路ネットワークの構築に向けた取組を進める。	<p>中部圏域の展開の方向性で、「今後の大規模な駐留軍用地の跡地利用と周辺市街地との一体的な整備を推進する。」と記載(p20 8. 3行)あるが、施策の中では記載漏れです。</p> <p>振興計画の章立てでは、6章で再掲も含め詳述して、圏域の整備方向性を県民が分かるよう記載すべきです。</p> <p>その他、モノレール延長の区間やLRTの区間等、公共ネットワークの整備についても記載すべきです。利用者の少ない北部では記載されています。</p>

※様式のデータはあらかじめメールでご案内しておりますが、県ホームページへも掲載しています。

※意見については、郵送、FAX又はメールにて、各回の会議開催1週間前までに、提出先の部会担当者あてに提出願います。

×切を過ぎてしまいますと、翌々回の会議における対応となりますので、あらかじめご了承ください。